



川のシンポジウム 2020

本庄の川を取り巻く環境について



定員
100
名

参加費
無料

申込
不要

2020年3月14日(土) 13:30~15:50

会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター
3階 レクチャールーム1 (埼玉県本庄市西富田1011)

本庄地域で川の調査を行っている小学生・高校生の活動発表などを通して、川を取り巻く環境について考えましょう。

本庄市立藤田小学校5年1組

「私たちの元小山川を守るために！～在来魚をとりもどそう！！～」

早稲田大学本庄高等学院河川研究班

「エビが訴える、環境ホルモン汚染」
「河川の汚泥を発電に利用する試み」

特別講座 埼玉県環境部水環境課

「海洋プラスチックごみ問題とマイクロプラスチック」



木持 謙 氏 埼玉県環境科学国際センター

「水をはかれば魚がみえる
-環境DNA分析による新しい生物調査技術」



金澤 光 氏 埼玉県魚類研究会代表

「本庄市の利根川で採集した
スナヤツメは北方種か、南方種か？」

【主催】

早稲田大学本庄高等学院
本庄市立藤田小学校
(公財)本庄早稲田国際リサーチパーク

【後援】

埼玉県本庄県土整備事務所
本庄市
本庄市教育委員会

【お問い合わせ】(公財)本庄早稲田国際リサーチパーク
TEL 0495-24-7455

会場のご案内



プログラム

13:00～

受付開始 (受付) 藤田小学校児童

13:30～

開会 (司会) 早稲田大学本庄高等学院生

(挨拶) 早稲田大学本庄高等学院長 半田 亨 氏

13:40～

本庄市立藤田小学校5年1組

「私たちの元小山川を守るために！～在来魚をとりもどそう！！～」

元小山川を在来魚たちがいきいきとくらすきれいな川にするために、何ができるか考えました。

14:05～

早稲田大学本庄高等学院河川研究班

「エビが訴える、環境ホルモン汚染」

早稲田大学本庄高等学院は2015年から小山川における河川エビの調査をしています。エビのオスメス比と環境ホルモン濃度の相関について考えます。

14:15～

早稲田大学本庄高等学院河川研究班

「河川の汚泥を発電に利用する試み」

汚泥に住むバクテリアの持つエネルギーから発電できるということをご存知ですか？男堀川の泥を用いて実験した結果をご報告します。

14:25～

休憩・ワークショップ (会場を出てロビーへお越しください)

14:40～

特別講座 埼玉県環境部水環境課

「海洋プラスチックごみ問題とマイクロプラスチック」

15:10～

木持 謙 氏 埼玉県環境科学国際センター

「水をはかれば魚がみえるー環境DNA分析による新しい生物調査技術ー」

河川水等に含まれる生物DNAを分析することで、対象生物の存在や生物相を調べる新しい技術について紹介します。

15:25～

金澤 光 氏 埼玉県魚類研究会代表

「本庄市内で採取したスナヤツメは北方種か、南方種か？」

北方種と南方種が存在するが形態が類似する隠蔽種群で、DNAを用いて種を判別した結果を紹介します。

15:40～

質疑応答・閉会

会場のご案内

- 講演中の出入りの際は、ドアの開閉にご注意ください。(お静かにお願いします。)
- 会場では携帯電話等をマナーモードにご設定ください。

(3階)

